

## 【FdData 中間期末：中学歴史】

### 【ヨーロッパのアジア侵略】

#### 【イギリスのアジア貿易】

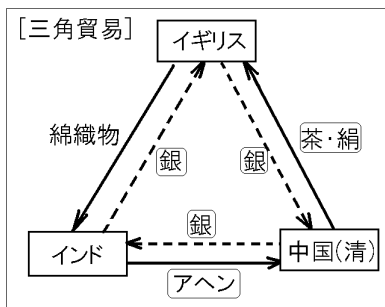
##### 【問題】(2 学期中間)

次の文中の①～③にあてはまる語句を書け。

イギリスは清から( ① )や絹を輸入し、その代金を( ② )で支払っていたが、(①)の輸入量が急増したため、イギリスはその支払いに苦しんだ。その対策として、イギリスは植民地であったインドに( ③ )をつくらせ、インドから清へ(③)を輸出することで(②)を得るようになった。

【解答】① 茶 ② 銀 ③ アヘン

##### 【解説】



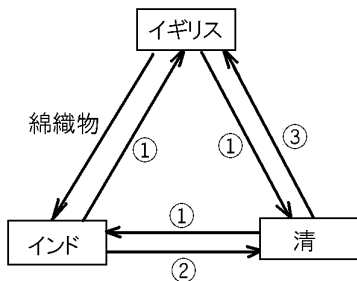
イギリスは、18世紀ごろから中国(清)<sup>しん</sup>とも貿易を行っていた。中国から大量の茶や絹を輸入し、中国へは綿織物<sup>めんおりもの</sup>などの工業製品を輸出した。しかし、綿織物などが思うように売れなかったため、貿易は大幅な赤字で、差額を銀で支払っていた。

19世紀にはいり、イギリスは、中国へ支払う銀が不足してきたため、綿織物などの工業製品をインドへ売り込み、インドで作らせたアヘンを中国に密輸<sup>みつゆ</sup>で売り込み、逆に利益をあげるようになった(三角貿易)。(この関係を銀の流れに注目して説明すると、上図のように、中国からインドにアヘンの対価として銀が支払われ、インドからイギリスへは綿織物等の対価として銀が支払われ、イギリスから中国へは茶・絹の対価として銀が支払われた。)

[問題](前期中間)

次の図は、イギリスを中心とする三角貿易を表している。①～③の矢印にあてはまるものを次の[ ]からそれぞれ選べ。

[茶・絹 アヘン 銀]



[解答]① 銀 ② アヘン ③ 茶・絹

[問題](後期中間)

次の地図や関係図をみて、後の各問いに答えよ。



- (1) 関係図 A, B にあてはまる国を地図中ア～オから記号で選べ。
- (2) 関係図中の茶・絹の支払いに使われた, a は何か。
- (3) A が密貿易でインドから B へ売り込ませた b は何か。

[解答](1)A イ B オ (2) 銀 (3) アヘン

## [アヘン戦争]

### [問題](2学期中間)

文中の①～⑥に適語をいれよ。

イギリスは清から( ① )や絹を輸入し、大幅な輸入超過であった。そこでイギリスは、綿織物などの工業製品をインドへ売り込み、インドで作らせた( ② )を清に密輸で売り込む三角貿易を行った。(②)患者が増加し、貿易赤字が大きくなった清は(②)の輸入を禁止した。これに対し、1840年にイギリスは艦隊を送って清を屈服させた。この戦争を( ③ )という。1842年に( ④ )条約が結ばれて、イギリスは清から( ⑤ )を譲り受けた。(④)条約は、( ⑥ )(外国人が罪を犯しても清は裁判をする権利がない)を認め、関税自主権が清にないことを内容とする不平等条約であった。

[解答]① 茶 ② アヘン ③ アヘン戦争

④ 南京 ⑤ 香港 ⑥ 領事裁判権

[解説]

1840年 アヘン戦争

1842年 南京条約

香港 を譲り受ける

領事裁判権, 関税自主権なし

## [アヘン戦争]



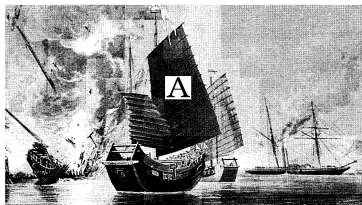
イギリスはインドで作ら  
せたアヘンを清に密輸で  
売り込む三角貿易を行っ  
た。アヘン患者が増加し、  
貿易赤字が大きくなった  
清はアヘンの輸入を禁止



した。これに対し、1840年イギリスは艦隊を送っ  
て清を屈服させた。これをアヘン戦争という。(ア  
ヘン戦争一発清を(1840)おどろかし) 1842年に  
南京条約が結ばれて、イギリスは清から香港を譲  
り受けた。南京条約は、領事裁判権(外国人が罪を  
犯しても清は裁判をする権利がない)を認め、関税  
自主権(輸入品の関税率を定める権利)が清にない  
ことを内容とする不平等条約であった。

[問題](1 学期中間)

次の各問いに答えよ。

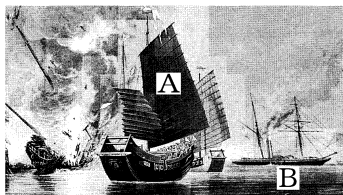


- (1) 上の資料は、ある戦争のようすを描いている。何という戦争か。
- (2) 図で砲撃されている A の船は、どこの国のものか。当時の国名を答えよ。
- (3) (1)の戦争のあとに、(2)の国がイギリスと結んだ条約を何というか。

[解答](1) アヘン戦争 (2) 清 (3) 南京条約

[問題](3 学期)

アヘン戦争のようすをえがいた次の絵を見て、各問いに答えよ。



- (1) イギリス船を示しているのは、A、Bのどちらか。
- (2) この戦争の後に結ばれた講和条約を何というか。
- (3) アヘン戦争で、イギリスが清に勝利した理由を、「工業力」・「軍事力」の語句を使って答えよ。

[解答](1) B (2) 南京条約 (3) 産業革命によって、工業力も軍事力もイギリスがまさっていたから。



[問題](2 学期中間)

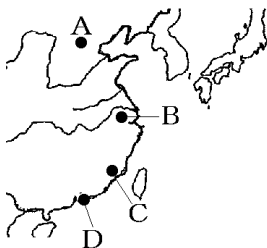
次の各問いに答えよ。

- (1) 1840 年, イギリスと清との間で起こった戦争を何というか。
- (2) (1)の戦争の結果, 清が 1842 年にイギリスと結んだ条約を何というか。
- (3) (2)の条約によって, イギリス人が清の国内で罪を犯しても清には裁く権利がないことが決められた。これを何というか。
- (4) (2)の条約によって, イギリスが清から得た都市の名前を書け。

[解答](1) アヘン戦争 (2) 南京条約 (3) 領事裁判権 (4) 香港

[問題](2学期中間)

アヘン戦争の結果について、次の各問いに答えよ。



- (1) アヘン戦争で勝った国はどこか。
- (2) アヘン戦争の結果結ばれた条約は何か。
- (3) (2)の条約によって(1)の国が清からゆずられた都市の名前を答えよ。
- (4) (3)の都市は図のA～Dのどれか。
- (5) (2)の条約が清にとって不平等とされる理由を2つあげて簡単に説明せよ。

[解答](1) イギリス (2) 南京条約 (3) 香港  
(4) D (5) 領事裁判権を認めたことと、清の関税自主権を認めなかったこと。

## [問題](1 学期中間)

南京条約で清は英国に対し領事裁判権を認めた。  
領事裁判権の内容を簡潔に説明せよ。

[解答]外国で犯した事件でもその国の法律ではなく自分の国の法律で裁判を行う権利。

## [太平天国の乱]

### [問題](2 学期中間)

次の文中の①, ②に適語をいれよ。

アヘン戦争後、賠償金支払いなどのために清は農民に重税を課したので、( ① )を指導者とする反乱がおこり、反乱軍は( ② )という国を建てた。清は14年がかりでこの反乱を抑えた。

[解答]① 洪秀全 ② 太平天国

### [解説]

アヘン戦争後、賠償金  
支払いなどのために清  
は農民に重税を課した

1851年	太平天国の乱
	洪秀全

ので、洪秀全<sup>こうしゅうぜん</sup>を指導者とする太平天国<sup>たいへいてんごく</sup>の乱がおこり、反乱軍は太平天国という国を建てた。清は14年がかりでこの反乱を抑えた。

[問題](2 学期中間)

次の各問いに答えよ。

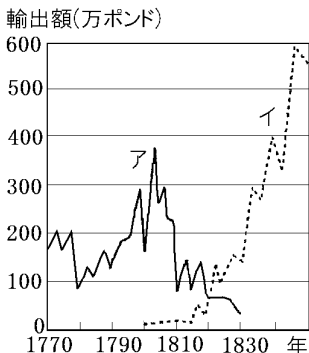
- (1) アヘン戦争ののちに、1851 年に中国南部で反乱を起こした人物は誰か。
- (2) (1)の人物が建てた国を何とというか。
- (3) (2)の国についての説明文ア～エのうち、間違っているものを1つ選べ。  
ア 多くの農民が建国に賛成した。  
イ 男女平等の社会をめざしていた。  
ウ 貧富の差のない社会をめざしていた。  
エ 約140年間国が続いた。

[解答](1) 洪秀全 (2) 太平天国 (3) エ

# [インドの植民地化]

## [問題](2学期中間)

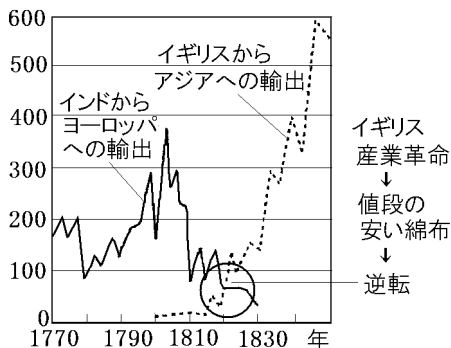
次の資料は、綿布の輸出額の変化を示したものである。インドからヨーロッパへの綿布の輸出を示したものは、ア、イのどちらか。記号で答えよ。



[解答]ア

[解説]

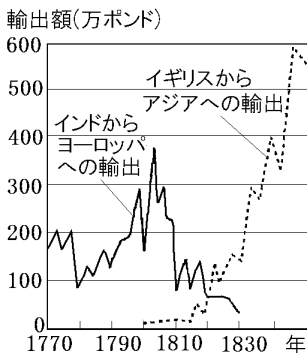
綿布の輸出額(万ポンド)



ヨーロッパでは17世紀から、軽くて美しいインド産の綿布が好まれたが、その輸入で貿易は赤字であった。イギリスは、綿糸や綿布を輸入ではなく自国でつくるために、技術を改良する努力を重ねた。18世紀の終わりに、蒸気機関で動く機械が使われるようになると(産業革命)、イギリス産の綿布が工場で安く大量に生産され世界に向けて輸出されるようになった。インドでは、イギリスの安い綿製品が流入し、伝統的なインドの綿産業は大きな打撃を受けた。

### [問題](2学期期末)

右の資料は、イギリスとインドの綿布の輸出を示している。この資料を見ると、1820年ごろから、イギリスの輸出がインドの輸出を上回っていることがわかる。その理由を「産業革命」の語句を用いて答えよ。



[解答]イギリスは産業革命で工業化を達成し、値段の安い綿布を生産できたから。

[問題](前期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 1857年にインドで起こった反乱を鎮めたイギリスは、インドへの支配を進めた。このように欧米諸国が武力で支配していった地域のことを、漢字3文字で何というか。
- (2) もともとインドは綿織物の産地であったのに、イギリスから綿製品を輸入するようになったのはなぜか。
- (3) 欧米諸国が進めた、資本家が労働者を雇って生産する経済のしくみを何というか。

[解答](1) 植民地 (2) イギリスの綿製品のほうが値段が安かったから。 (3) 資本主義

[問題](2 学期中間)

文中の( )に適語をいれよ。

1857年、イギリスの東インド会社に雇われていたインド兵が反乱をおこし、農民なども加わって反乱は全国に広がった。これを( )という。これを鎮圧したイギリスはムガル帝国を滅ぼし、インドをイギリスの領土とした。

[解答]インド大反乱

[解説]

1857年 インド大反乱



イギリスが ムガル帝国 を滅ぼす

イギリスの東インド会社に雇われていたインド兵が反乱をおこし、農民なども加わって反乱は全国に広がった。これをインド大反乱という。これをちんあつ鎮圧したイギリスはムガル帝国を滅ぼし、インドをイギリスの領土とした。(いやご難(1857)のインド大反乱)



[問題](2 学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) イギリスによって植民地にされ、三角貿易に利用された南アジアの国はどこか。
- (2) 1857年、(1)でイギリスの植民地支配に反対して起こった反乱を何というか。
- (3) (2)の後イギリスによってほろぼされた帝国を何というか。

[解答](1) インド (2) インド大反乱 (3) ムガル帝国

[問題](2 学期中間)

インド大反乱が始まる前後のインドの様子をあらわした次のア～エの文のうち、まちがっているものを記号で1つ選べ。

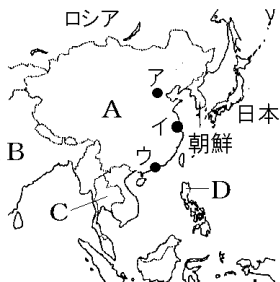
- ア 大反乱の前には、イギリスの支配が内陸までおよび、イギリスの工業製品が流入して、インドの産業が衰退していた。
- イ まず、イギリスにやとわれていた兵が反乱をおこし、反乱は各地に広がった。
- ウ 反乱はイギリスによっておさえられ、全土の植民地化が進んだ。
- エ 反乱はまもなく終わり、反乱終了後、この国はすぐに独立することができた。

[解答]エ

[全般]

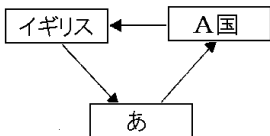
[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。



(1) 地図中の A の国を何というか。

(2) 右の図の「あ」  
にあてはまる国  
を地図中の B～  
D から選び、記  
号を書け。



(3) 右上の図で①A国からイギリスへ輸出されたもの、②イギリスから「あ」へ輸出されたものを書け。

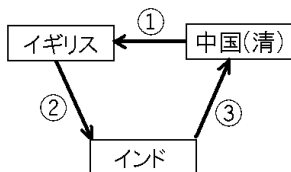
(4) ①1840年にA国でおきた戦争は何というか。  
②また、その結果結ばれた条約は何というか。

(5) (4)で答えた条約でイギリスが獲得した場所を地図中のア～ウから選び、①記号を書け。  
②また、その地名も答えよ。

[解答](1) 清 (2) B (3)① 茶や絹 ② 綿織物などの工業製品 (4)① アヘン戦争 ② 南京条約 (5)① ウ ② 香港

[問題](1 学期中間)

次の資料を見て、次の各問いに答えよ。



(1) 資料は 19 世紀の三角貿易を示したものである。①～③にあてはまるものを、次の[ ] から 1 つずつ選べ。

[ アヘン 綿織物 茶・絹 香辛料 生糸 象牙・金 ]

(2) 1840 年におこった清とイギリスとの戦争の結果、1842 年に結ばれた条約の名前を答えよ。

(3) (2)の条約は、不平等条約である。内容は、次のようなものであった。( )内にあてはまる語句を書け。

清は( )を認め、関税自主権がないという不平等な条約であった。

(4) 1851 年に洪秀全を中心としておこった反乱を何というか。

[解答](1)① 茶・絹 ② 綿織物 ③ アヘン  
(2) 南京条約 (3) 領事裁判権 (4) 太平天国の乱

◆社会歴史の各ファイルへのリンク

<http://www.fdtype.com/dp/sr4/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

[http://www.fdtype.com/dp/qanda\\_k.html](http://www.fdtype.com/dp/qanda_k.html)

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)  
の価格・購入方法

<http://www.fdtype.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、  
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : [info2@fdtype.com](mailto:info2@fdtype.com)